

令和6年2月28日

保護者の皆様へ

羽曳野市立羽曳が丘小学校
校長 前田 幸章

※児童アンケートは4年生以上で実施

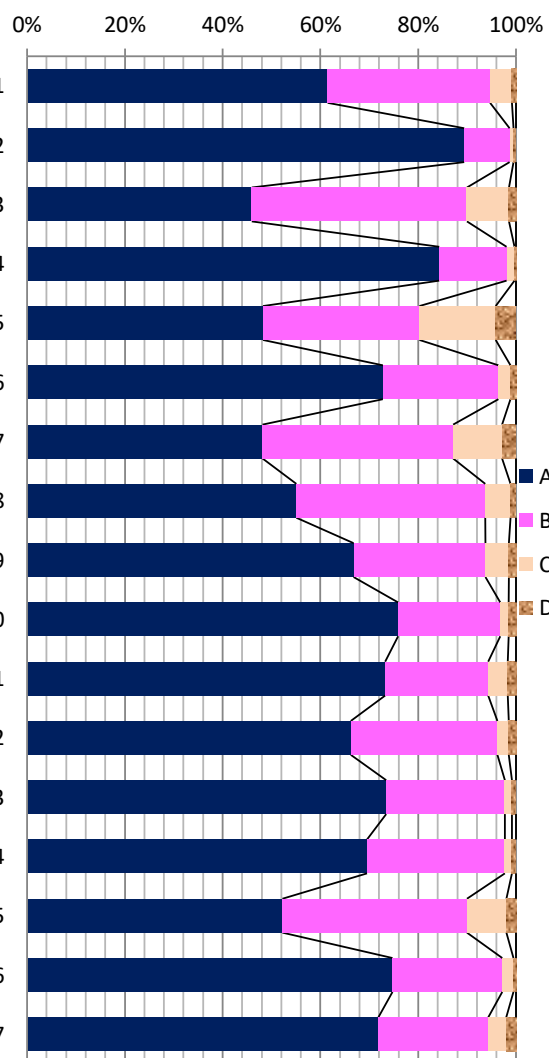
令和5年度 学校教育アンケート 結果について

梅花の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の教育活動に何かとご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。さて、先日は、「学校教育アンケート」にご協力いただき、学校の教育活動や日ごろの実践等について率直な評価をくださり、ありがとうございました。児童(4年生以上)からのアンケートとあわせて、本年の傾向等について、ご報告いたします。

R5児童アンケート

設問	項目		A	B	C	D	E	計
1	羽曳が丘小学校へ行くのが楽しい。	%	59.2	32.0	4.3	0.8	3.7	100
2	遠足や宿泊行事、運動会、子ども祭りなどの学校行事は楽しい。	%	88.6	9.2	0.8	0.5	0.9	100
3	先生や友達に自分から進んで、あいさつをしている。	%	44.9	43.0	8.4	1.4	2.3	100
4	休み時間は、友だちといっしょに楽しく過ごしている。	%	82.7	13.5	1.6	0.3	1.9	100
5	朝の読書の時間は、楽しく本を読んでいる。	%	47.6	31.6	15.4	4.1	1.3	100
6	先生たちは、授業を分かりやすくしてくれる。	%	70.8	23.0	2.4	1.1	2.7	100
7	授業で分からないことについて、先生に質問しやすい。	%	45.7	37.0	9.5	2.7	5.1	100
8	授業中は、みんなの話を聞いてがんばって勉強できている。	%	54.3	38.1	5.1	1.1	1.4	100
9	先生たちは、わたしたちの話や意見をよく聞いてくれたり、相談にのってくれたりする。	%	64.1	25.9	4.6	1.4	4.0	100
10	先生たちは、いじめなど私たちが困っていることについて、対応してくれる。	%	70.8	19.5	1.6	1.4	6.7	100
11	先生たちは、自分が努力したことやがんばったことを認めてくれる。	%	69.5	20.0	3.8	1.6	5.1	100
12	学級では、みんなで意見を出し合って話し合っている。	%	62.7	28.4	2.2	1.4	5.3	100
13	命の大切さや社会のルールについて、学習している。	%	71.1	23.5	1.4	0.8	3.2	100
14	自分を大切に、他人への思いやりを学ぶことがある。	%	67.3	27.3	1.4	0.8	3.2	100
15	授業などで、将来の夢や自分の生き方を考えることがある。	%	50.5	36.5	7.8	1.9	3.3	100
16	安全な生活の仕方について、教えてもらっている。	%	71.9	21.6	2.2	0.5	3.8	100
17	通知表の成績の付け方は、納得できる。	%	68.4	21.4	3.5	1.9	4.8	100

A よく当てはまる
B やや当てはまる
C あまり当てはまらない
D 全く当てはまらない



<児童アンケート結果まとめ>

新型コロナウイルス感染症の位置づけが令和5年5月8日から「5類感染症」に移したことに伴い、学校における教育活動の制限も大幅に緩和されました。今後も、子どもたちの健康を守ること・成長につながる学びを何よりも重視しつつ、学校生活を進めてまいります。

さて、このような状況ではありますが、ほとんどの項目で、肯定的回答(AとBを合計した数値:A+B)が85%以上となり、昨年度同様、今年度も肯定的な意見が大部分を占めています。特に、「②遠足などの学校行事は楽しい。」という項目に対して肯定的回答をした児童が(97.8%)、「④休み時間は、友だちといっしょに楽しく過ごしている。」(96.2%)となっております。いずれも「A:よく当てはまる」の数値が高いことから、学校行事や遊びにおいて集団で活動することを楽しいと感じている児童が非常に多いことが分かります。

また授業や教師に関する項目では、「⑥先生たちは、授業を分かりやすくしてくれる。」(93.8%)、「⑨先生たちは、わたしたちの話や意見をよく聞いてくれたり、相談にのってくれたりする。」(90.0%)、「⑩先生たちは、いじめなど私たちが困っていることについて、対応してくれる。」(90.3%)、「⑪先生たちは、自分が努力したことやがんばったことを認めてくれる。」(89.5%)、「⑫学級では、みんなで意見を出し合って話し合っている。」(91.1%)など肯定的な回答が多く寄せられています。引き続き分かりやすい授業、安心して学校に登校できる環境づくりに努めてまいります。

その反面、「③羽曳が丘小学校へ行くのが楽しい。」の回答結果などから、全員が毎日楽しく充実した学校生活が実現できるよう、引き続き取り組んでいかなければならないという課題も見えてきます。

一方、85%を下回った項目は、「⑦授業で分からないことは、先生に質問しやすい。」(82.7%)があり、何よりもまず分かりやすい授業を旨とするのはもちろんのこと、児童がより質問しやすいような授業づくりを推進していきたいと考えています。また「⑤朝の読書の時間は、楽しく本を読んでいる」についても「A:よく当てはまる」の数値がやや低く、図書館の蔵書、学級図書の実充、読書指導に力を入れていく必要を感じています。

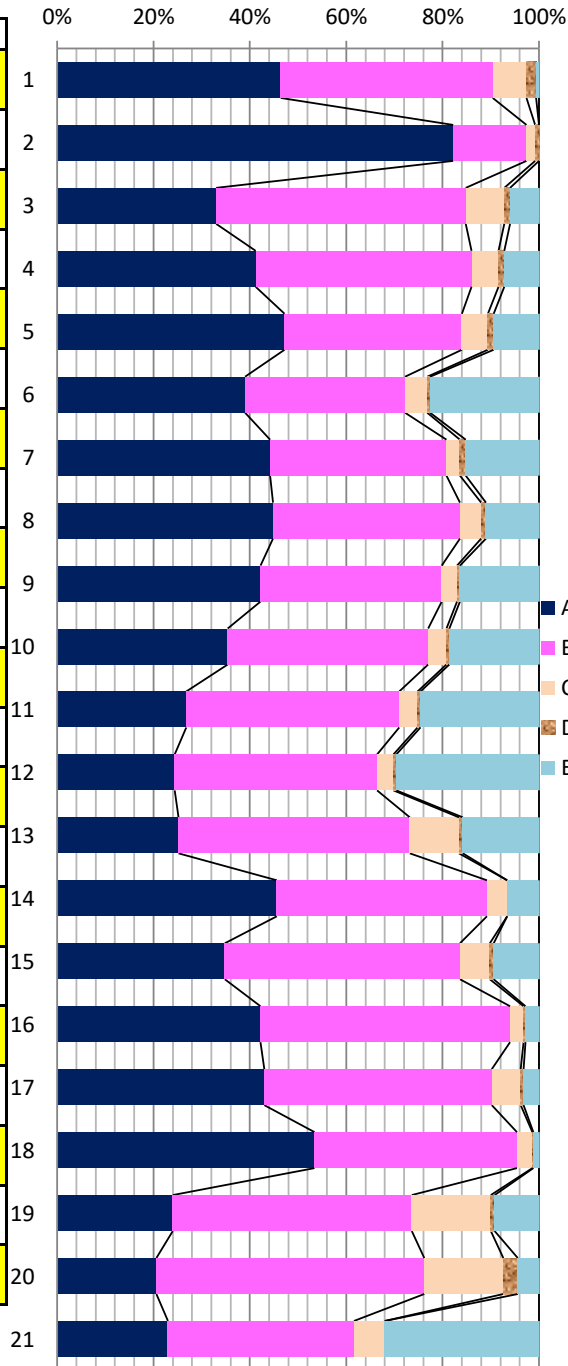
R4年2月にSPS認証校となった本校の特色ある取組みである教科横断型授業の「安全タイム」の実施、安全にかかる児童会活動などの成果は、「⑬命の大切さや社会のルールについて、学習している。」(94.6%)「⑯安全な生活の仕方について、教えてもらっている。」(93.5%)から見られました。

今後も上記の取組みに合わせて、学校安全に関する取組み(避難訓練・救急救命訓練・アレルギー対応研修等)を実施することにより、学校全体の意識を高め、児童の安全を第一に教育活動を進めてまいります。

R5 保護者アンケート

羽曳が丘小学校 学校教育自己診断

設問	項目		A	B	C	D	E	計
1	子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。	%	46.4	44.0	7.0	2.0	0.6	100
2	子どもは、学校行事(遠足・宿泊行事・運動会・子どもまつり等)に楽しく参加している。	%	82.2	15.2	1.8	0.8	0.0	100
3	子どもは、授業がわかりやすいと言っている。	%	33.0	51.8	8.0	1.2	6.0	100
4	先生達は、子どもをよく理解してくれている。	%	41.2	44.8	5.6	1.2	7.2	100
5	先生達は、子どものことについての相談に適切に応じてくれる。	%	47.2	36.8	5.4	1.2	9.4	100
6	先生達は、いじめのない学級づくりに取り組んでいる。	%	39.0	33.2	4.6	0.6	22.6	100
7	先生達は、子どもが思いやりや優しさをもって人と接することができるように指導している。	%	44.2	36.6	2.8	1.2	15.2	100
8	先生達は、子どもの間違った行動について適切に指導してくれる。	%	44.8	38.8	4.4	1.0	11.0	100
9	先生達は、子どもの評価を適切・公平に行っている。	%	42.2	37.6	3.2	0.6	16.4	100
10	学校は子どもに生命を大切にす心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	%	35.4	41.6	3.8	0.6	18.6	100
11	学校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。	%	26.8	44.2	3.8	0.6	24.6	100
12	学校は、すべての教育活動において子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	%	24.4	42.0	3.4	0.6	29.6	100
13	学校は、異学年や幼小の子ども同士の交流を積極的に進めている。	%	42.2	37.6	3.2	0.6	16.4	100
14	学校は、読書活動や図書館教育を充実させている。	%	45.6	43.6	4.2	0.0	6.6	100
15	学校は、子どもの安全確保に努め、事故防止に配慮している。	%	34.8	48.8	6.2	0.8	9.4	100
16	学校は、教育方針や活動内容などを、学校だより等でわかりやすく伝えている。	%	42.2	51.8	2.8	0.4	2.8	100
17	学校は、家庭への連絡や保護者との意思疎通を必要に応じて行っている。	%	43.0	47.2	6.0	0.6	3.2	100
18	学校は、保護者が授業を参観する機会をよく設けている。	%	24.0	49.6	16.4	0.8	9.2	100
19	学校の施設・設備は、子どもたちの学習環境面では十分である。	%	23.0	38.6	6.4	0.0	32.0	100
20	通知表は、子どもの学力や生活の様子をわかりやすく表すように工夫されている。	%	20.6	55.6	16.4	3.0	4.4	100
21	PTA活動は活発である。	%	23.0	38.6	6.4	0.0	32.0	100



Aよく当てはまる Bやや当てはまる
Cあまり当てはまらない D全く当てはまらない E分からない

<保護者アンケート結果まとめ>

本アンケートは、児童→先生→学校→連携・PTAの項目順で構成されています。本年度からWEB形式のみでの回収となり、回収率も昨年度と比べて10%減となりました。本年度は新型コロナウイルスが5月より第5類に変更したことで参観、運動会等の行事も制限をかけずに取り組みを進めることができました。多くの項目で肯定的回答(AとBを合計した数値:A+B)が80%以上ではありましたが昨年度と比べると減少しております。

児童の反応については、「①子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。」が90%を超えています。また「③子どもは、授業がわかりやすいと言っている。」も横ばいのまま推移しています。継続的に児童の言語活動を重視した分かりやすい授業を心がけていきたいと思っております。

先生に対しては、昨年度よりも肯定的な回答が減少しています。「④先生達は、子どもをよく理解してくれている。」「⑨先生達は、子どもの評価を適切・公平に行っている。」等については、大きな減少はありませんでしたが「⑥先生達は、いじめのない学級づくりに取り組んでいる。」は70%台となっていることから取り組み等をしっかりと発信していく必要があると感じています。

学校については、「⑩学校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。」「⑫学校は、すべての教育活動において子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。」の2項目には、E(分からない)の回答率が高い状態が続いています。本校では道徳の授業交換を全学年で実施し、特別活動や総合学習など、人権教育・キャリア教育には力を入れて取り組んでいます。しかしながら、今年度も、子どもたちから保護者へはあまり伝わっていない結果となりました。さらに、学校としての情報発信の力を高めていく必要があると感じています。ただ、「⑬学校は、異学年や幼小の子ども同士の交流を積極的に進めている。」は昨年度より肯定的な回答が増加しました。5年生と幼稚園・6年生と1年生の継続的な交流が保護者にも伝わっていると感じています。

保護者連携・PTAについて、「⑩学校は、教育方針や活動内容などを、学校だより等でわかりやすく伝えている。」「⑪学校は、家庭への連絡や保護者との意思疎通を必要に応じて行っている。」については肯定的回答が昨年度に引き続き90%を超えています。今後も、メール配信等を活用しながら、より分かりやすい情報発信に向けて取り組みます。「⑲学校の施設・設備は、子どもたちの学習環境面では十分である。」については、肯定的回答が昨年度よりも低くなっております。窓枠の落下等もあり、再度、児童の学習活動の充実と施設面での安全確保を図るため、学校としてできることを実施しながら、教育委員会とも連携して進めていきます。「⑳通知表は、子どもの学力や生活の様子をわかりやすく表すように工夫されている。」は、今年度の変更で肯定的回答が増加しました。最後の「PTA活動は活発である。」は、コロナ禍の中で、運動会等、一部活動が再開しました。まだまだ本格的に活動ができておりませんので評価しにくかったことと思いますが、昨年度より肯定的回答が増加しました。次年度以降、学校・保護者・地域が一緒になってできる取組を工夫しながら考えていきます。